

丸4年と1冊です

gatta!

real people of yamagata

free magazine.

TAKE FREE | 10
2008 | 10
無料配布のフリーマガジンです

巻頭特集 ヤマガタで働くということ

Uターン職人

新連載#04

山形セレクション



U-TURN VOICE

酒田市出身
Uターン歴6年



◎離県歴…18年
◎職業…一級建築士
酒田東高校→新潟大学工学部建築学科→石本建築事務所(東京都)→Uターン

山形市出身
Uターン歴4年



◎離県歴…27年
◎職業…会社取締役
日本大学山形高校→日本大学法学部政治経済学科→日本テレコム(東京都)→ジュビターテレコム(東京都)→Uターン

山形市出身
Uターン歴7年



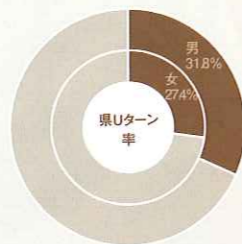
◎離県歴…17年
◎職業…会社代表取締役
山形東高校→山形大学人文学部文学科→アルプス電気(東京都、宮城県ほか)→Uターン

U-TURN DATA

県外移動経験者が、出生県へ帰還した人の割合

ここに掲載したグラフは、国立社会保障・人口問題研究所が、平成13年に実施した「第5回人口移動調査」の結果である。調査は全国から無差別に選ばれた12,594

世帯の有効票によって出されている。年代別では、男性が40代後半、女性が40代前半のUターン者がピークで、次いで男女とも50代前半、30代後半となっている。



過去5年間での移動理由

同じく過去5年間に現住地への移動した世帯の理由は、左グラフの通り。大都市圏→非大都市圏の移動理由は、随伴移動がトップ、次いで親と同居等の順が高い。



Uターン 山形で働くということ。 仕事人

故郷を離れたきっかけと、戻った動機、そして地元を離れたことで見えた山形について聞かせてください。Uターンした方々の視点を借りて、山形の外側と内側、両方を知ることので、新しいヤマガタを探してみたいと思います。

地球のこと、 自分たちのこと。 知ることから はじめよう。

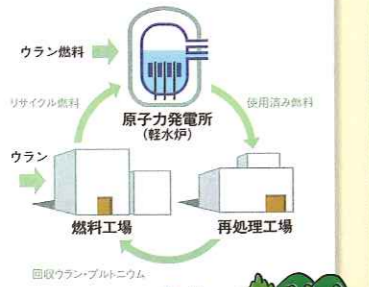
みなさん、知っていますか？ 石油は約40年で、石炭は約147年で、天然ガスは約63年で、ウランは約85年で、採ることが出来なくなるといわれています。



※確認可能埋蔵量は、存在が確認され、経済的にも生産され得ると推定されるもの。
※出典/①石油、石炭、天然ガス--BP統計2007
②ウラン--OECD/NEA-IAEA URANIUM 2005

この4つの資源の中で
再利用できるのはウランだけ！
限りある資源を有効活用
する方法「プルサーマル」。

原子力発電所で使用した燃料には、消費されなかったウランや新たに生成されたプルトニウムが含まれています。このウランやプルトニウムは「再処理」によって取り出し、再び原子力発電所で使用することができます。これを「プルサーマル」といいます。

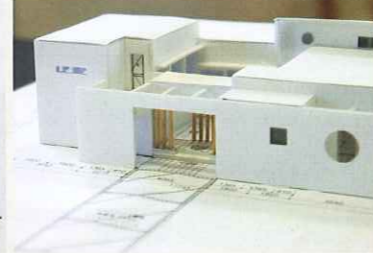
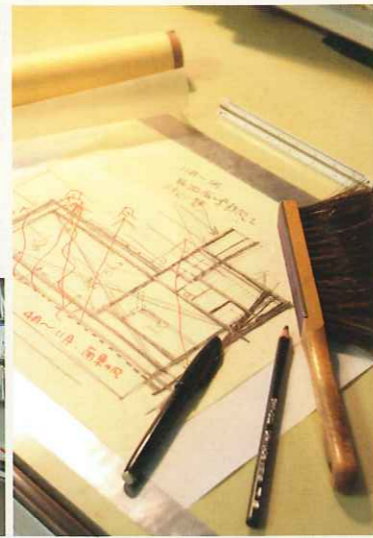


これからは欠かせない電気だから...。限りある資源を大切に使う必要があります。原子力発電もその一つ!!

東北電力 山形支店

山形で働くということ。

「この空間にはどういう人たちが集い、どういう役目があるのか、建物は長く残りますから、納得いくまで何度でも線を引きます」と話す碓谷さん。
<http://www.in-archi-studio.com>



遊佐町立高瀬小学校の改築工事。水の里といわれる地区にあやかり、校舎中庭に農業用水を引き、滝を造った。斬新なその設計図で、見事勝利。高瀬小は、碓谷さんのお母さんの母校でもあった。そして今年6月、めでたく独立。友人宅の新築を手がけ、東京時代からつながっている会社の仕事などをこなす日々。「地元では顔の見える仕事をしたいですね。それと野球。酒田東高を甲子園に行かせますよ」そう、碓谷さんには、酒田東高校野球部コーチというもうひとつの顔がある。建築士を目指す前は野球に携わる仕事がしたいと願っていた碓谷さん。いま酒田で、その両方を手に入れた。



碓谷 規幸さん

'90年石本建築事務所入社。'96年からプロジェクトリーダーとして設計監理業務に携わる。'02年にUターンし、酒田市の伊藤建築設計事務所入社。'08年6月に独立。現在I-N設計スタジオの代表。

碓谷さんは一級建築士。オフィスビルやマンション、福祉施設など、いわゆる箱ものと呼ばれる建物を中心に、実績と経験を積んできた経歴を持つ。「大学に進んだときから、いつかは地元に戻ろうと決めていました。それでまずは5年頑張ろうと、東京で就職したんです」大きな仕事のプロジェクトを任せてもらえるようになり、歳月はあっという間に過ぎた。「結果的に11年半いましたね」きっかけは、母の死。帰ることを想定し、仕事の整理をしかけた矢先の出来事だったという。「戻ってきてからの悩みは職探し。そんなときUターン転職を支援してくれる会社の社長さんから、アナタを必要としている職場はきっとあるって励ましてもらった。心強かったですね」Uターンから半年後、碓谷さんは、伊藤建築設計事務所ですターントを切った。「コンペやプロポーザルで勝てる人材ということで採用してもらったんです。それなら東京での経験が絶対武器になる、そういう気持ちで臨みました」地元で最初に挑んだコンペは、

地元で手に入れた“独立”と、もうひとつの顔

